

令和3年度舞鶴総合防災訓練の実施について

「自らの命は自らが守る」という市民の防災意識の高揚と、防災関係機関のより一層の連携強化を目的に実施します。

今回は、日本海側の重要な拠点港であり、南海トラフ地震等、太平洋側における大規模災害発生時に備えたりダンダンシー機能を併せ持つ、京都舞鶴港の強みを活かし、舞鶴国際ふ頭において、総合防災訓練としては初めてとなる、護衛艦ひゅうがを拠点とした救助活動や物資輸送など、大規模な航空機運用訓練を計画しています。

1 日 時

令和3年10月31日（日） 8時00分～12時00分

2 訓練会場

野原地区、海上自衛隊舞鶴教育隊、朝来小学校、舞鶴国際ふ頭

3 主催・共催

主催 舞鶴市、共催 海上自衛隊、京都府

4 参加機関

陸上自衛隊、海上保安庁、近畿地方整備局、京都府警察本部、京都市消防局、京都府舞鶴警察署、京都 DWAT、中丹災害医療連絡会、舞鶴市消防本部、舞鶴市消防団、京都府水難救済会、野原自治会、朝来自治連合会自主防災会

5 想 定

- ・若狭湾内断層でマグニチュード6.9の地震が発生し、舞鶴市では震度6弱の揺れを観測。
- ・市内各所で建物の倒壊、土砂災害、道路の寸断が発生し、一部集落が孤立。
- ・舞鶴市は災害対策本部を設置、京都府を通じ自衛隊など防災関係機関に出動を要請し、災害応急対策活動を開始。

6 訓練内容

(1) 野原会場（8時～11時）

- ①情報伝達訓練（防災行政無線、自動起動ラジオ等）
- ②津波避難訓練

【お問い合わせ先】

危機管理・防災課：☎0773-66-1089、FAX0773-64-7688
E-mail:kikikanri@city.maizuru.lg.jp

- ③孤立住民救助訓練（漁船、護衛艦、巡視艇）
- ④避難住民搬送訓練（北吸岸壁）

（2）海上自衛隊舞鶴教育隊会場（9時～10時30分）

- ⑤広域防災活動拠点展開訓練（エアテント展開）
- ⑥高層建物救出訓練
- ⑦被害状況調査訓練（ヘリコプターによる）
- ⑧土砂災害による倒壊家屋及び事故車両救出訓練（高機動車、救助工作車）
- ⑨物資輸送訓練（ヘリコプターによる）

（3）朝来小学校会場（9時～12時）

- ⑩避難所開設、運営訓練（朝来自主防災会）
- ⑪避難住民の健康調査訓練（舞鶴市、DWA T、中丹災害医療連絡会、中丹東保健所）
- ⑫支援物資搬送訓練
- ⑬孤立地区住民受入訓練

（4）舞鶴国際ふ頭会場（8時～12時）

- ⑭支援物資輸送訓練（車両→ひゅうが→ヘリコプター）
- ⑮護衛艦ひゅうがを拠点とした航空機運用訓練

京都府警察本部、近畿地方整備局、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、京都市消防局

※ 報道機関の皆様には、10月中旬ごろ訓練の詳細をお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

危機管理・防災課：☎0773-66-1089、FAX0773-64-7688
E-mail:kikikanri@city.maizuru.lg.jp